

- 制限中止割引のデータ提供が遅れる場合は、下表のとおりとなっています。

	「制限中止割引」データの提供が遅れる場合の運用
北海道電力	<ul style="list-style-type: none"> ・台風や災害、検針日近くに停電が発生した場合には、データ提供が遅れる場合があります。 ・提供が遅れる場合には、小売事業者様にご連絡し提供可能予定等をお伝えしております。
東北電力	自然災害等による停電の事象が検針日の直前に発生した場合は、次回の請求に制限中止割引を適用させていただきます。
東京電力	<p>現状、「制限中止割引時間帳票」については、暫定対策として実施している検針日から起算して7営業日目までの確定使用量通知を踏まえたタイミングとなっておりますが、今後、恒久対策として検討している検針日から起算して4営業日目までの確定使用量通知を目指す中で、「制限中止割引時間帳票」の公開時期についても見直し、正常化を図ってまいります。</p> <p>上記の対策中のため、制限中止割引のデータ提供が遅れる場合の運用については、今後の検討とさせていただきたいと考えております。</p>
中部電力	制限中止割引は、原則として料金計算日までに停電原因が確定できているものについて5営業日目までを目途にデータ提供するよう対応します。ただし、料金計算日の直前に停電が発生した場合や広範囲の大規模停電が発生した場合等には、データ提供の遅れが生じます。この場合、翌月の料金計算日でのデータ提供および制限割引額の反映を以てご連絡とさせていただきます（現状の運用面およびシステム面において事前連絡の対応を行うのは困難です）。
北陸電力	Webへデータを掲載後、連絡
関西電力	本来の提供日まで遅れる場合の提供日をメールにて周知のうえ、Webへ掲載
中国電力	検針日直近の停電等は範囲や規模により対象確定に時間が要する場合があります、本来の提供日に間に合わないケースもある。現状どおり、遅れた場合は翌月請求時あわせて提供する。
四国電力	データ提供が遅れる場合は提供可能となる日を連絡のうえ、Webへ掲載
九州電力	<p>検針日直前の停電等については、その状況により集約や確定に時間を要し、本来の提供日に間に合わない場合があります。この場合、提供は翌月の請求時とさせていただきます。</p> <p>なお、災害の発生等で提供の遅延が明らかな場合は、可能な範囲でお知らせをいたします。</p>
沖縄電力	<ul style="list-style-type: none"> ・通常：検針日から起算して第5営業日目途に、事業者向け公開サーバに掲載。 ・台風襲来時等：停電範囲が広範囲に及んだ場合は、停電発生日時の把握まで、1～2カ月要する場合もあり、その際は、事業者向け公開サーバに掲載後、事業者さまへ個別連絡。

- 「JPO6121」 (管理番号) の採番方法は以下のとおりです。

北海道電力	<p>□○○○○○△</p> <ul style="list-style-type: none"> □：常時は「M」、予備は「R」 ○○○○○：弊社独自に需要者へ付番し管理しているNSC-IDの下5桁 △：任意のアルファベット
東北電力	<p>【特高・高圧】 計器番号を採用</p> <p>【低圧】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11：主計量 21：別計量
東京電力	<p>DK00001：「本線」に使用</p> <p>DK00002：「予備A」、「予備B」等2つ目の計量器に使用</p> <p>DK00003：「本線」「予備A」「予備B」といった3つ目の計量器がある場合に使用</p> <p>DK00004以上：4つ以上の計量器がある場合に使用 (例：総合契約)</p>
中部電力	<p>【特高・高圧】</p> <p>⇒ 常時：01、予備：11、予備電源：12</p> <p>【低圧 (電灯)】</p> <p>⇒ 全日：51、2計器目に対して「52」</p> <p>夜間：61、2計器目に対して「62」</p> <p>【低圧 (動力)】</p> <p>⇒ 全日：56、2計器目に対して「57」</p> <p>3計器目に対して「58」</p>
北陸電力	<p>【低圧需要以外】</p> <p>1：常用、2：予備A、3：予備B、4：付帯、5：付帯外、9：その他</p> <p>【低圧需要】</p> <p>1：主計器、2：副計器1、3：副計器2、4：付帯、</p> <p>5：付帯外、9：その他</p>

<p>関西電力</p>	<p>【低圧】 計器番号 (スイッチング支援システム) や確定使用量メッセージ計器識別番号 (JPO6408) とは異なる不変の番号。</p> <p>【特高・高圧】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時 (予備と共用計量の場合を含む) は “01” ・予備 (計量器登録台数に応じて採番) は “02~” <p>※登録のタイミングや計器の撤去により欠番 (飛び番) が生じる場合があります。</p> <p>※確定使用量メッセージの計器区分コード (JPO6407) と同一 [タグ属性の違いにより表示桁数は異なります]</p>
<p>中国電力</p>	<p>【特高・高圧】 常時：01, 予備：02で管理</p> <p>【低圧】 計器指定番号 (1~4)</p>
<p>四国電力</p>	<p>管理番号は「供給地点特定番号の一部(14桁)」+「計器登録順に付番する連番(2桁)」の16桁で構成</p>
<p>九州電力</p>	<p>【特高・高圧】</p> <p>常時：101~109</p> <p>予備A：201~209</p> <p>予備B：301~309</p> <p>※1桁目は計器台数を表示 (通常は「1」を設定)</p> <p>【低圧】</p> <p>主計器：11~19</p> <p>別計器：21~29</p> <p>※1桁目は計器台数を表示 (通常は「1」を設定)</p>
<p>沖縄電力</p>	<p>弊社は3桁(1桁目:計器区分コードと合わせる、2~3桁目;計器台数)で出力する仕様です。(例) 常用計器 1台目101/2台目102…、予備A計器 1台目 201/2台目202…</p>